

脳梗塞に対する経橈骨動脈穿刺を用いた血栓回収療法における臨床的有用性の後ろ向き研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

本研究の目的は、脳梗塞に対する血栓回収療法において、経橈骨動脈穿刺を用いた手技の有効性と安全性を評価することです。従来の大腿動脈穿刺を使用した方法と比較し、経橈骨動脈穿刺が患者様の治療成績や術後の回復に与える影響を調査します。

本研究は後ろ向き研究であり、過去に当院で経橈骨動脈穿刺を用いた血栓回収療法を受けられた患者様の診療記録を収集・解析します。また、同様の手技を大腿動脈穿刺で行った患者様のデータとの比較を行い、手技間の有効性と安全性を検証します。新たな検査や治療は行いません。

研究の対象となる方

2021年1月1日～2024年11月6日に当院で機械的血栓回収療法を受けられた方

使用する試料・情報

本研究では、以下の診療情報を使用します。

年齢、性別、既往歴などの患者背景情報、術前の神経学的評価（NIHSSスコアなど）、術中の手技に関する情報（穿刺部位、使用デバイス、手技時間など）、術後の治療結果（再開通率、神経学的転帰[mRSスコア]、合併症の有無）、入院期間およびその他の関連情報

使用開始予定日：2024年11月13日

研究予定期間

2024年11月13日～2025年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 脳神経内科 長尾洋一郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経内科 長尾洋一郎

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)